

株式会社SIGNING、新型コロナウイルスによる

暮らしの変化と社会変革の兆しを捉えた調査レポート第2弾

『Covid-19 Social Impact Report 2』を公開

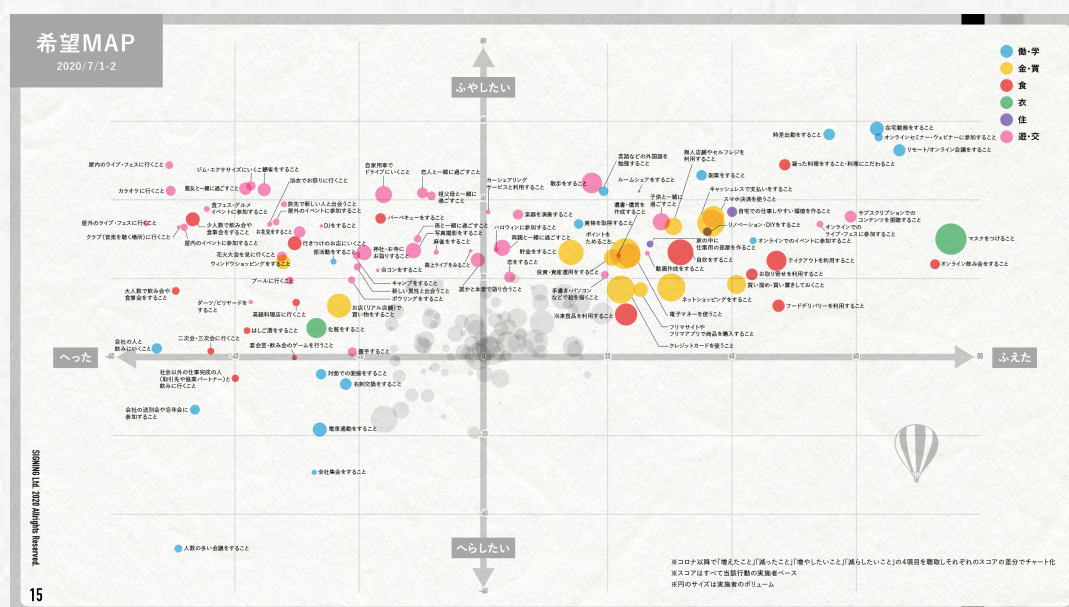
Covid-19 Social Impact Report 2

博報堂DYホールディングス傘下のビジネスデザインカンパニーSIGNING(サイニング)は、新型コロナウイルスによる生活者の暮らしと意識の変化と未来に向けた社会アップデートの兆しを考察した調査レポートの第2弾として「Covid-19 Social Impact Report 2」(調査期間2020年7月1~2日)をまとめました。

5月に緊急事態宣言が解除され、6月19日には移動自粛要請が解除されたものの、感染者数は一進一退を繰り返し、コロナとの共生による生活者の暮らし・意識への影響は、これからもますます大きなものになることが予想されます。

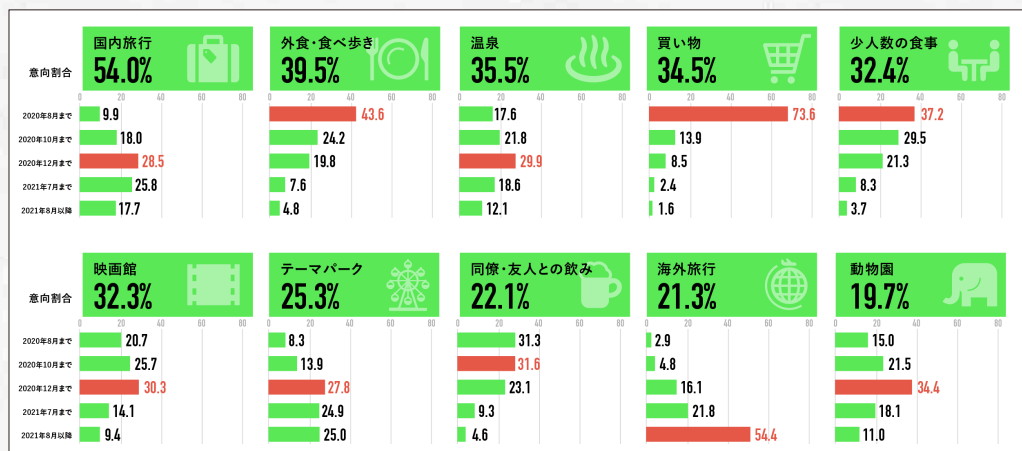
こうした状況の中にあって、コロナの影響で「ふえたこと、へったこと、なくしたくないこと」をテーマに、生活者が直面する「未来の暮らしへのアップデート過程」にフォーカスすることで、ポストコロナの世界へと前進し始めた生活者たちの最新の姿を捉えることができました。

レポート詳細はこちら: <https://signing.co.jp/pdf/covid19-social-impact-report2.pdf>



調査サマリー

【やりたいこといつからはじめる?】



【ふえたこと・へったことTOP10】

ふえたこと TOP10		へったこと TOP10	
1位	マスクをつけること +75.2pt	1位	屋外のライブ・フェスに行くこと -54.3pt
2位	オンライン飲み会をすること +72.6pt	2位	会社の人と飲みに行くこと -52.6pt
3位	リモート/オンライン会議をすること +66.9pt	3位	屋内のライブ・フェスに行くこと -50.6pt
4位	オンラインセミナーに参加すること +63.6pt	4位	カラオケに行くこと -50.3pt
5位	在宅勤務をすること +63.3pt	5位	大人数で飲み会・食事会をすること -49.6pt
6位	サブスクリプションでのコンテンツを視聴すること +59.1pt	6位	人数の多い会議をすること -49.1pt
7位	時差出勤をすること +55.4pt	7位	クラブ(音楽を聴く場所)に行くこと -48.0pt
8位	オンラインでのライブ・フェスに参加すること +54.1pt	8位	屋内のイベントに参加すること -48.1pt
9位	凝った料理をすること・料理にこだわること +48.4pt	9位	少人数で飲み会や食事会をすること -46.8pt
10位	フードデリバリーを利用すること +47.4pt	10位	会社の送別会や忘年会に参加すること -46.4pt

【ふやしたいこと・へらしたいことTOP10】

ふやしたいこと TOP10		へらしたいこと TOP10	
1位	在宅勤務をすること +58.2pt	1位	人数の多い会議をすること -48.9pt
2位	時差出勤をすること +56.7pt	2位	全社集会をすること -29.4pt
3位	オンラインセミナー・ウェビナーに参加すること +56.0pt	3位	衝動買いをすること -19.3pt
4位	リモート/オンライン会議をすること +52.6pt	4位	電車通勤をすること -18.6pt
5位	凝った料理をすること・料理にこだわること +48.9pt	5位	現金での支払いをすること -15.9pt
6位	屋内のライブ・フェスに行くこと +48.7pt	6位	相席をすること -15.2pt
7位	副業をすること +46.4pt	7位	紙の書類を使用すること -13.7pt
8位	散歩をすること +44.2pt	8位	会社の送別会や忘年会に参加すること -13.5pt
9位	ジム・エクササイズに行くこと +43.6pt	9位	家事代行を頼むこと -11.8pt
10位	親友と一緒に過ごすこと +42.9pt	10位	道ばしで食へること -10.8pt

また社会課題とビジネス課題を同時に解決する「ソーシャルデザイン」を掲げるSIGNINGは、第一弾のレポートに引き続き、ウイルスと共生しながらも、より良い未来へと社会をアップデートするためのアイデア=「ソーシャルサイン」※を同時公開いたします。様々な方々の新しいビジネスの挑戦のきっかけになればと考えています。

※ ソーシャルサイン:SIGNINGが提案する社会課題とビジネス課題を同時に解決するアイデアのこと

※本レポートは世界的な新型コロナウイルスの危機に対して厳しい状況だからこそその中に前向きな変化の兆しを見つけないといけないという意図で作成しています。また感染拡大への細心の注意をはかりウイルスとの共生を前提に社会の変化を予測するものです。新型コロナウイルスそのものや、それによって発生している諸問題を肯定するものではありません。

調査概要

[16 - 69歳男女] 全国・3,000サンプル

[調査方法] インターネット調査

[実施時期] 2020年7月1日(水)-2日(木)

レポート詳細

<https://signing.co.jp/pdf/covid19-social-impact-report2.pdf>

本件に関する
お問い合わせ

contact@signing.co.jp

Web

<https://signing.co.jp>